

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成23年度ファンド助成先団体の応募(活動)内容等

※助成応募時の公開審査会(プレゼンテーション)資料等を抜粋加工

活動助成等コースの部

No	団体名	活動テーマ、活動内容等
1	いたみ医学研究情報センター	活動・事業テーマは、痛みに対して専門的知識を持つ者や痛みに関心を持つものが集まり、「痛み」に関してより科学的目線にたった有益な情報を提供する市民団体を設立すること。 Web を通じた学術的根拠に基づいた情報の発信、市民を対象にした痛み関連のセミナーの開催、人材の育成、独自の学術的研究を行ってゆく。
2	NPO エコごはん	活動・事業テーマは、地産地消の地域の食材を使用しての食事を体験することにより、健康で元気な体と心をつくる。個人の元気は家族の元気。地域が元気になるような活動を目指す。 高知県の特産物「野菜」は健康によく新鮮なものが豊富。そんな地域の宝物の素材を活かした、地球、体に良い食事を皆で学び、技術を向上させる。美味しい食事に人が集まり、元気で、人生が豊かになることにより、地域の活性化につながる活動を行う。
3	特定非営利活動法人 高知県生涯学習支援センター	活動・事業テーマは、高知県民が生涯に渡り適切な学習機会が得られるよう支援する体制を整え、豊かな生涯学習社会を高知県に実現すること。 「KOLTEC 土佐の偉人勉強会」を開催し、知ってるつもりでも説明できるほど詳しくない郷土の偉人につき、様々な分野で活躍している講師を招き、楽しく学んでゆく。また、不登校、高校中退者のための進路相談会を開催し、子供達の進路に関し支援を行う。
4	NPO 法人 カンガルーの会	活動・事業テーマは、毎年増加している児童虐待に対し、発生してからの早期対応にとどまらず、虐待予防に取り組むこと。 虐待予防の指導者を養成する講座の開設、虐待予防に関心のある人々に関心を持ってもらうための講演会を開催する。
5	高知ミモザの会	活動・事業テーマは、県下で次々と休廃校になる学校の変遷を、学校が存在する地域の風景、子供の学び、遊び、教師、友人、地域との交流等につき、卒業生を中心に記録してゆく。 休廃校の調査と資料収集、原稿依頼、執筆、研究発表をつうじ、地域社会の考察、教育、学校史の調査、さらにかつて地域の光であった学校が現在再利用されている姿まで含めてまとめてゆき、平成25年を目処に出版をする。
6	ウインターカーニバル実行委員会	活動・事業テーマは、ウインターカーニバルを通して、参加した人たちのコミュニケーションから、郷土への愛着と希望をもつような町づくりを目的とする。 クリスマスの時期にあわせた、冬のお祭りを開催する。冬の打ち上げ花火、キャンドルアート、巨大クリスマスツリー、七輪バーベキュー、ステージパフォーマンス、屋台、お楽しみ抽選会、スタンプラリー等を通じ、地域の内外及び県外の人々との交流、他の地域活動をしている団体との交流を図る
7	中村交響楽団	活動・事業テーマは、音楽芸術活動の機会提供と若手育成。 具体的には、今までの高知県西部を中心にしたオーケストラ活動による、数々の著名な音楽家との共演といったことから、今年は団員を中心に企画した、地元在住の若手演奏家のコンチェルトを行う。また、四万十川国際音楽祭でおこなっている、バイオリンアンサンブル講座の受講生の小中学校生も参加した、幅広い年齢の市民と一緒に音楽を作るといった活動を行う。

No	団体名	活動テーマ、活動内容等
8	久礼田地区史談会	<p>活動・事業テーマは領石地区を通る参勤交代北山道や、久礼田地区の史跡案内整備の完了を受けて、久礼田地区の史跡についてのガイドブックを作成すること。</p> <p>史跡ガイドブック作成により、ハード整備で出来た史跡整備と一体となり、地区の人々や子供達に地域の歴史を知ってもらい、地域起こしへとつなげることが出来る。また、南国市の「土佐のまほろば風景街道」と、県立歴史民族資料館の長宗我部時代の史跡活動との連携、協働をはかる。</p>
9	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の「ジオ鉄」を企画する会	<p>活動・事業テーマはごめん・なはり線沿線の地質・地形に関するジオの情報と、鉄道の見所をジオポイントとしてまとめること。</p> <p>これまで、誰にでもわかりやすく一目で見られるジオ鉄マップのプロトタイプを作成し普及に努めてきたが、県東部山間部や東洋町、室戸エリアの海岸線は解説が乏しい。この地区にジオと鉄道の視点で新たなジオポイントを開発し、ホームページの作成公開を通じて情報を世界に発信してゆく。</p>
10	特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館	<p>活動・事業テーマは、地域資源の保全・活用による地域づくり。イベント開催と参加を通じた教育プログラムの実施。</p> <p>建物のない砂浜美術館のコンセプトを、黒潮町に住む人々に生活文化として定着させる取組みを行ってきた。地域外からは評価されるようになったが、町内では十分に浸透していない部分があるため、Tシャツアート展、砂浜美術館のイベント参加を通し、学校教育システムを構築する。その活動を通じ、地域の価値を自分の言葉で語り、町に誇りをもてる子供達を育て、地域づくりを行う。</p>
11	高知県建設系教育協議会	<p>活動・事業テーマは、高校、高専、大学が連携した建設技術の研究と、それを動かす人材の育成。生徒、学生による「土佐のお遍路さん休憩所（四阿 あずまや）」建設。</p> <p>これまで児童・生徒・学生らによる地域の社会基盤の学習や、高校生の研究活動への大学教員の支援といった活動を行ってきたなかで、今回は小中学生のコンペによる概念計画、高校生のコンペによる基本設計、高校、大学の学生教員による詳細設計に基づいて、高校生・大学生がお遍路さん休憩所を作成する。</p>
12	絆	<p>活動・事業テーマは、過疎の地域住民に対する、過疎地有償運送等、高齢者生活支援や、地域おこしに関する事業を行い、住民活がある、安心、安全、快適な生活に寄与すること。</p> <p>檮原町の中心部から20Kmほど離れた、高齢化率が5割を超える地区で、高齢者が病院や買い物に行くための、通常のハイヤーの半額以内で利用できる過疎地有償運送を始め、さらには配食サービスなどの高齢者生活支援事業をつうじ、町おこしにつながる活動へと展開する。</p>
13	チーム・ゴメンジャー	<p>活動・事業テーマは、ゴメンジャーを切り口とした地域内外の協働による「ごめん～トライアングルゾーンの活性化～」</p> <p>ゴメンジャー・ショーの上演および「なんこく・ごめん」のPRに関するさまざまなイベントへの「出動」を行うことにより、南国市、ごめんの活性化に寄与する。行政だけでは出来ない、後免商店街を中心とした地域の活性化を、勝手連的な地域内外の人材の参加・応援もみこめる、ゴメンジャーといった切り口の活動で、賑わい、活性化を図ってゆく。</p>

## ハード整備助成コースの部

No	団体名	活動テーマ、活動内容等
1	<p>特定非営利活動法人 高知セラピー・ドッグ協会</p>	<p>整備事業テーマは、障害をお持ちの方の生活をサポートする為に必要な介助犬、聴導犬の訓練を、高知県で可能にするために、室内訓練設備を整備すること。 高知県では介助犬、聴導犬の訓練設備がなく、京都、九州といった遠方に足を運ぶ必要があったため、宿泊費、交通費の負担で断念する方が多かった。県内で訓練が可能になることにより、障害を持った方が、より社会参加のできる暮らし易い街づくりができる。</p>
2	<p>土佐の太平洋高気圧</p>	<p>整備事業テーマは、県東部になかった障害者の自立の視点に立ったヘルパー事業所を設立すること。 障害を持った人々に、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに合ったケアを提供し、障害者自身が人とのコミュニケーションや指示の仕方といった能力を身に付けるようにする。また、地域の余力を持った人たちにヘルパーとして働いてもらうことで、地域の雇用創生に繋げる。障害者の人たちが、地域の人たちと時間を共有することで、シャッター商店街の“ホッとふれあい”の灯となってゆきたい。</p>